

延島つまず

延島小学校長 田村芳広



体力づくり(なわ跳びの練習)が終わったあと、4年生が担任を囲んで丸くなり、担任の言葉に注目していました。練習の振り返りをしていたのかなと思いました。そこで、4年生に8の字跳びのアドバイスをしました。4年生の目がかみつくようにこちらを見ます。一人も私の言葉をいい加減に聞いている子はいません。難しいことも必死に理解して、なんとしても自分たちの8の字跳びの記録を高めたいという思いが感じられます。今、職員は閉校に向けて、例年の3学期に比べものにならないくらい忙しい毎日を送っています。しかし、このような子どもたちの顔を見たら、手を抜くことができません。最後まで、子どもたちや延島小のためにがんばっていきましょうという思いになります。なわ跳び大会も、みんながんばれ！

下野新聞の記事から



下野新聞の一面の「雷鳴抄」にこんな記事がありました。

「子は親を映す鏡」。子どもの振る舞いを見れば、その親がどんな親であるかを知ることができる、ということわざである。子どもは親のまねをしなくてもいいところをまね、似なくてもいいところが似る。子育てを経験した人なら思い当たる節があるだろう。「親」を「大人」と言い換えることもできる。子どもの大人に対する観察眼は鋭い。宇都宮市教委が作製した小冊子「コドモのメセン」は、見事に大人の生態を捉えている。市内の小学校から募集した大人の「ハテナ行動」と「ステキな行動」の体験談8編を掲載している。ハテナ行動に思い当たり、ドキッとする大人は少なくないはずだ。「スイミング教室中ガラス越しの観覧席を見るとスマホを見ているお母さんばかり。ねえこっちを見てよ。」このほかにも採用にならなかったが、「大人のスマホ依存」を指摘した応募作が多かった。「ゲームをやるなど言っているくせに自分はスマホでやっている。」「スマホをいじっているときは、何を聞いてもウンウンしか言わない。」これでは大人が「ノーススマホデー」を提唱しても、子どもはハテナマークだ。小冊子には、「ママが見ていてくれば、もっとやる気がわいてくるのに。」というコメントがあった。子育て中のお父さんお母さん、スマホではなく子どもと向き合ってください。

「子は親を映す鏡」。この記事からすると、延島小の子どもたちが良いということは、やはり、保護者の皆様、地域の皆様が良いということであるということになります。先日の閉校記念事業委員会では、オブザーバーの方は各関係団体の方で、普段の行事では来賓という立場であるのに、「私たちは準備等、何をやらういいですか。」とおっしゃってくださいました。地域の方が学校の閉校を児童、職員、保護者とともに一緒になって一生懸命思ってくださいていることがよくわかりました。このような地域の大人の方、保護者の方のいる延島に育った子どもたちですから、子どもたちも良くなるのだと改めて感じました。

『ありがとう延島小 お別れ式』に向かって



5、6年生を中心に全児童が一生懸命取り組んでいます。職員も必死に子どもたちの活動を支えています。大忙しです。準備、練習ともに、十分には時間をとれませんが、子どもたちが作り上げた『お別れ式』を楽しみにしてください。ぜひ、15日の授業参観前の『書道パフォーマンスI』を御覧ください。

思いを言葉に (思い出アンケート)



6年児童が行った『思い出アンケート』に御協力いただきありがとうございました。全て読ませていただきました。地域の方、保護者の方、おじいちゃん、おばあちゃん、中学生も書いてくれました。蛍のかごづくり、飯ごう炊さん、たこあげ大会、校舎北側でのスケート、裸足の運動会等々、たくさんの方が、この延島小に忘れられない思い出を持っていることがわかりました。在校生も、お泊まり会、花火、運動会、気球に乗ったこと、風船をあげたこと等々、この1年の閉校記念行事を思い出として書いている児童が多くいました。また、感謝の言葉も読んでみると、涙が出てしまうようなものもありました。みなさんの思いを6年生が言葉にします。その言葉は、閉校式のしおりに載せます。ぜひおいでいただき、子どもたちとともに、延島小学校に最後の言葉と呼びかけてください。なお、いただいた言葉は閉校式当日、体育館の『思い出にふけるコーナー』に展示します。たくさんの方の思い出を読むことも楽しみにしてください。

思いを文字に



延島小への感謝の言葉とこれからの延島の子どもたちの目指す姿を文字にして書道パフォーマンスを行います。『書道パフォーマンス I』は授業参観の日に行いますが、お別れ式で行う『II』には、保護者の皆様、地域の皆様に参加していただきたいと思っております。当日は小さなカードをお配りしますので、思い思いのことを書いて、『I』で作成した大きな紙に貼っていただきます。子どもたちとともにカードを貼って、この『思いを文字に』が完成します。たくさんの方に一言でも結構ですので書いていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

閉校記念品



事前に申し込みのあった『閉校記念Tシャツ』は無事136着配付が終了しました。ご両親で購入していただき、子どもたちと一緒におそろいで旅行も行けるといいう話や、卒業生4人で買っておそろいで同級会に行こうとか、いろいろなお話が聞こえてきました。また、延島を離れた親戚の分もということで5着希望された方もいるなど、みなさんが喜んでくださって、Tシャツをつくってよかったなと改めて思いました。お別れ式では児童も職員もこのTシャツを着て参加します。延島小児童、職員全員でTシャツを着るのはこれが最後になるかもしれません。Tシャツを着て真剣にお別れ式を行う子どもたちをよく観てあげてください。

ご報告



1/30 6年禁煙講座

たばこの害について学びました。外国のたばこのパッケージにたばこの害についてかなりリアルな画像が印刷されていたことにはとても驚いたようです。未成年の時に誘惑に負けないようにするにはどうしたらいいか考えました。



自学ノート がんばり



今回の提出された自学ノートも大変ていねいにやってありました。低学年においては少しずつお家の方が問題を書いてくださるものもあり、保護者の皆様の御協力を感じました。実は、今回校長室に持ってきたノートの中に144冊目があり、延島小の歴史と同じということで特別賞を出しました。しかし、1冊目からの積み重ねなので、そのノートとがんばり賞を渡すときには、「みなさんの頑張った結果です。全員が自分たちに拍手しましょう。」と話しました。いつも以上に、子どもたちの大きな拍手になりました。

2年 〇〇〇〇 さん 3年 〇〇〇〇 さん 4年 〇〇〇〇 さん
5年 〇〇〇〇 さん 〇〇〇〇 さん 〇〇〇〇 さん 6年 〇〇〇〇 さん